



令和4年度

新発田市立猿橋小学校（瑛玖良校）グランドデザイン

教育目標

つながり 高め合い みんなでつくる 瑛玖良校
～ともに きらきら かがやこう～

育む5つの資質・能力—めざす子どもの姿

分かる・できるを実感する力

学んだことや経験したことを振り返り、自分で得た学びを自覚し、自分のものにする子ども

かかわる力

積極的にいろいろな人とかかわり、思いや考えを聞いたり、伝え合ったりする子ども

つくり出す力

これまでの学びや経験を基に、新たな情報を得たり、他者と協力したりしながら、よりよい考えを形にする子ども

思いやる力

他者との違いを認め、相手の気持ちを考えて行動できる子ども

やり遂げる力

自ら進んで自分の成長のために目標を決め、目標に向かって最後までやり遂げる子ども

重点目標

《知育》

- ・他者とかわり、自分の思いや考えを伝えることができる子どもを育てる。
- ・学んだことを振り返り、身に付けたことを自覚することができる力を育てる。

《徳育》

- ・他者とのつながりを意識し、親切にしたり、思いやったりすることができる子どもを育てる。
- ・友達と仲良く協力し、助け合うことができる集団を育てる。

《体育》

- ・自分でめあてを決め、進んで運動や生活改善に取り組む態度を育てる。
- ・活動を振り返り、身に付けた技能や記録の伸びを実感できる子どもを育てる。

主な教育活動と成果目標

生きて働く学力の定着

- 既習事項を活用しながら自ら考える授業、基礎・基本が確実に身に付く授業の実施
- UDLの視点を生かした学習環境整備と授業づくり及び「授業・学習スタンダード7」に基づいた学習規律の確立
- 家庭学習の習慣化

思いやりの心と社会性の育成

- つながりマナー（②んづけ、③ールを守る、④いと返事、⑤ずかに聞く）を身に付けさせるための授業や集会活動等の実施
- 他者のよさや違いを認める合える受容的な人間関係を育成するためのソーシャルスキルトレーニング等の実施
- 児童の発想や主体性を生かした挨拶習慣化の取組の実施

自ら運動や生活改善に取り組む態度の育成

- 体力向上に向けた基礎的な技能の育成と自らの学び実感できる授業の実施
- 運動する楽しさや喜びを体感できる場の設定と評価方法の工夫
- 元気アップ週間や講演会、保健指導を核とした家庭との連携による基本的な生活習慣確立のための取組

- ・ワークテストで期待得点を超える児童の割合を80%以上にする。（分かる・できるを実感する力）
- ・「学習スタンダード7」が「よくできた」と振り返る児童の割合を80%以上にする。（かかわる力）
- ・学年×10分の家庭学習が習慣化し、宿題を毎日提出する児童の割合を80%以上にする。（やり遂げる力）

- ・みんなに親切にしたり、思いやったりすることを目指して、つながりマナーを守っている児童の割合を児童評価で75%以上、職員評価で75%以上にする。（思いやる力）
- ・いじめをしない、見逃さないという意識をもつ児童を85%以上にする。（かかわる力）
- ・学校、家庭、地域で進んで挨拶している児童の割合を児童評価90%以上、保護者・地域代表者評価で75%以上にする。（かかわる力）

- ・自分のめあてに向かって進んで運動に取り組んでいる児童の割合を90%以上にする。（やりとげる力）
- ・できることが増えたり、記録が伸びたりしたことを実感できる児童の割合を80%以上にする。（分かる・できるを実感する力）
- ・家族と一緒に決めたメディア接触時間を守って生活できる児童の割合を75%以上にする。（やり遂げる力）

社会に開かれた、家庭・地域とともに歩む学校づくり

子どもを見守り、共に活動し、成果（子どもの成長）を共有できる家庭・地域。そして、共に子どもたちの未来を語り合える家庭・地域

- 家庭・地域との連携…瑛玖良サポーター（安全・学習・環境・図書館）による支援の拡大・充実
学校評議員、町内会長、民生委員、主任児童委員との連携（学校関係者評価委員会、地域懇談会、避難訓練等）
- 外部関係機関との連携…市教育委員会、こども課、児童相談所、猿橋中学校区（三校連絡会、すこやかな子どもを育てる会）、児童クラブ、警察署、消防署、人権擁護委員会等